

「大和証券グループCSRセミナー」を開催しています。

2003年11月から、社会的責任の視点で大和証券グループを見直すCSRセミナーを開催。ステークホルダーである従業員とともに大和のCSRのあり方を考えています。

- 第1回：参加者18名 2003年11月26日
- 第2回：参加者40名 2004年2月3日
- 第3回：参加者21名 2004年2月4日
- 第4回：参加者20名 2004年3月4日
- 第5回：参加者24名 2004年4月15日



CSR/ブランド経営ウェブサイトで情報公開・情報発信しています。



<http://www.daiwa.jp/branding/>

第1回「『持続可能性報告書』を読む会」

2004年4月に入社する内定者の方々の有志に集まっていただき、「持続可能性報告書2003」を読んだ意見やCSRのあり方について意見を伺いました。グループディスカッションでは、内定者という独特の視点から、活発な意見が飛び交いました。社会的責任投資(SRI)や、社会性の高い事業の提案と育成、幅広い投資家層を育成する経済・金融教育など、本業に関係が深く、長期的な視野で大和証券グループにとってもプラスになる活動に期待する声が聞かれました。

第2回「これからの青少年への経済・金融教育」

青少年への経済・金融教育について関心の高い従業員が集まりました。ゲストスピーカーに、NPO「ジュニア・アチーブメント日本本部」の中許善弘専任理事をお招きし、青少年への経済教育の取組みについてお話を伺いました。子どもたちの「自ら判断する力」を育てることがJAの活動目的であるというお話に、参加者からさまざまな質問が寄せられました。

第3・4・5回「大和証券グループの『何ができるか』を考える会」

NGO/NPOや専門家のゲストスピーカーを各回2名お招きし、環境と社会情勢のプレゼンテーションの後に、グループに分かれて座談会を行なう形式のセミナーを3回行ないました。森林の本当の価値や飢餓・貧困の経済的メカニズム、なぜグローバル化が批判されるのか、といったCSRを深く掘り下げたテーマを展開。経済と環境、経済と社会問題の関係性を認識し、地球規模の問題に、証券会社として何ができるかを考えるきっかけとなりました。

<ゲストスピーカー>

(株)CSR経営研究所 足立直樹氏、小林一朗氏
日本自立プロジェクト/世界市民社会フォーラム東アジア地域 コーディネーター 上村雄彦氏

2003年1月、大和証券グループ本社ホームページに「CSR/ブランド経営ウェブサイト」がオープンしました。“CSRとブランド経営”をキーワードに、SRIへの取組みや経済・金融教育、社会貢献活動、持続可能性報告書などを紹介しています。

特集では、CSRに関する連載記事を掲載しています。第1回特集「原会長、ビジョンを語る」では、CSRの専門家である後藤敏彦氏をお招きして、グループ本社会長の原良也が、「コーポレート・ブランディングを通じた社会的責任経営」についてのビジョンを語りました。

第2回特集「CSRってなに?」では、CSRを取り巻く最新の動向を紹介しながら、CSRをわかりやすく説明しました。

2004年8月から連載を開始した第3回特集「対話で考えるCSR」では、大和総研主任研究員の河口真理子が、NGO/NPOや企業の方々との対話を通じて、CSRをより深く掘り下げて考えていきます。連載の第1回目では、CSRと人権のかかわりをテーマにしています。

また、大和証券グループの本業における取組みとして、SRIがあります。2004年6月に開催した「ダイワSRI投資家セミナー」の内容や、大和証券グループのSRIファンドの関係者インタビューも掲載しています。

大和証券グループでは、本サイトを通じて、社会・環境活動についての情報提供を拡充するとともに、ステークホルダーとのコミュニケーションを深めていきます。